

認知症を含む高齢者の不適応行動に 対する行動分析学的支援



みや ひろあき

講師 **宮 裕昭** 先生

(市立福知山市民病院 精神神経科)

講師紹介: 患者本人やその支援者に対し、行動原理に基づく適応支援や対応支援を実践。幼児から高齢者まであらゆる年齢層に対応している。院内では認知症ケアや緩和ケア、虐待防止部門だけでなく、職員の適応支援や、若手看護師育成のコーチング部門のアドバイザーも担当中。付属看護学校では講師のみならずスクールカウンセラーとしても従事している。

認知症高齢者は種々の不適応行動を生じることがあります。これらは認知症に起因する行動・心理症状(BPSD)と理解されがちですが、現在、認知症の改善策はありません。一方、非認知症の高齢者も類似の不適応行動を生じることがあります。いずれも対応次第で増減することがあるため、環境の影響を受けていることが考えられます。本講では行動原理を踏まえてそれらを理解し、改善のための支援策を考えていく方法をご紹介します。

WEB配信期間

【配信期間】

2026年

1月21日(水) ~ 3月1日(日)

【申込期間】 1月21日(水)~2月26日(木)

【参加費】 3,000円(定員100名)

申込方法

下記URL、QRコードから申込ページにアクセスしてください。

<https://www.kwansei.ac.jp/psyser/workshop/>

* 参加申込・参加費の支払いにはPeatix(オンラインイベント管理サービス)への会員登録(無料)が必要となります。
詳細は申込ページからご確認ください。



【申込ページ】

ワークショップの内容

- ① 認知症とその行動・心理症状(BPSD)について知る
- ② BPSDを含む高齢者の不適応行動を環境因から考える
- ③ 高齢者の不適応行動の改善策を対応の工夫から考える

参加対象

- 認知症者を含む高齢者の行動支援に興味をお持ちの方
(家族介護者、医療・福祉の各種専門職)
- 認知症者を含む高齢者の行動支援における心理師の使いどころに興味をお持ちの方
(医師、行政担当者、介護事業者など)

【お問い合わせ】

関西学院大学文学部 心理科学実践センター

TEL. 0798-31-0791

電話受付時間: 月、火、水、金は10時~17時半
土は10時~16時